

回答内容：

5. 達成している 4. ほぼ達成している 3. どちらともいえない 2. 取り組みを検討中 1. 改善が必要

1. 教育理念・目的等

評価

1-1 理念・目的・育成像は定められているか

5

「外国人学習者に効果的な日本語教育を提供し、またその中で日本の文化社会への理解を深め、実社会においても貢献できる有能な人材」と定められている。

1-2 学校特色は何か

5

学習者のレベルや特性に合った教育の提供、ICTを活用したオンライン授業の実施、学習内容を定着させるための戦略、学習者別の学習指導方法などを実施する。

1-3 学校の将来構想を抱いているか

5

学習者の多様なニーズに応えるべく日本語教育のさらなる向上を図る。常に教育技術・知識の更新を行う。学外活動にも積極的に取り組み、体験学習からも社会、社会の人たちとの繋がりを体得し、さらなる社会貢献への継続を図る。

1-4 理念に基づく教育が行われているか

4

定められた理念に基づき、教師会議において理念を共有し、教育の質を確保するためのチェック機能を持たせている。しかしコロナ禍の現状を鑑み、オンラインによる会議となりその会議の質をより高めていく必要がある。

2. 学校運営

2-1 運営方針は定められているか

5

業務上の諸問題に関してはできるだけだけの打ち合わせを設け、報告、議論され方針が示される

2-2 事業計画は定められているか

5

事業計画は、運営方針として会議にて伝達され共有されている

2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか

5

本校の代表者が経営統括し、校長が学院を統括、監視、助言し、主任教員が実務の指揮、実行を行う

2-4 人事や賃金での処遇、現場環境の改善に関する制度は整備されているか

5

賃金、処遇は年1回行われる人事考課を基に賃金が見直され、的確な評価による意欲向上に努めている。職場環境の改善については、職員同士の横の繋がり、業務協力、意見交換などを円滑にし、風通しの良い人間関係を構築している。

2-5 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか

5

教育動画作成やパワーポイントの活用など、今後のオンライン授業を実施しており、今後もより良い対応するべく教育デジタル化に取り組んでいる。遠隔授業においても質の向上にむけ、新しい方法などの研究会、研修会参加も積極的に行っていく。

2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか

4

外部の有識者より幅広い項目を評価、点検してもらう。より多くの人たちへの本校の周知をはかり、様々な部門の有識者からの評価、点検も行えるよう努める。

- 2-7 危機管理体制は整備されているか。 5
防火管理者、防災管理者を選定しており、姫路警察と連携を深め、交通事故などの予防に図るようにしている。また、コロナ感染防止対策として、自動サーモ検温器の設置、パネル仕切り板の設置、消毒液の常備設置、換気対策などを徹底し、感染防止に努めている。
- 2-8 施設、設備は教育上の必要性及び学生安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか。 5
施設、設備は学校教育法に基づいて整備されている。

3. 教職員

- 3-1 教育理念、目的が教職員間で共有されているか。 4
採用時の研修及び会議、その後のミーティングにおいて、設置者、校長からすべての教職員に対しての訓示があり共有されている。但し、オンライン会議のため回数も制限され、今後は充実したものにすべく検討する必要がある。
- 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか。 5
教員、校長による授業参観を行い、授業録画も行い、授業後の振り返りが効果的に行われるよう努めている。それぞれの教員の経験、能力、強み、弱みを学院側も把握し、教員の質の向上に努めている。
- 3-3 教育評価を行っているか 5
学習者からのアンケート、率直な意見感想を募り今後、次年度に活かすようにしている。

4. 学生の募集と受け入れ

- 4-1 学生の受け入れ方針は定められているか。 5
学生の受け入れについては、一定の募集基準を校内会議にて決定し、問題のない学生を受け入れる体制を整えている。入学選考は、複数の目で審査され、適正かつ公平な基準に基づき行う。
- 4-2 学生募集活動は、適正に行われているか。 5
学生募集についてはネパール、バングラデッシュ、インドネシアにおける適切な斡旋業者を通じ、書類選考、オンラインによる面接を行っている。必要時には学生母語通訳者も同席し、正確な審査を行うよう努めて、可否を決定している。今後は他の国も視野に入れていく。
- 4-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 3
今後もデータに基づいた教育成果を伝えていく。
- 4-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 5
書類選考に合格した者のみ面接を行い、さらに面接に合格した者のみ最終的に合格としている。
- 4-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか。 5
適正な定員設定で募集活動を行っている。

5. 財務

- 5-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 5
現在運転資金は余裕を持って運用している。また適材適所、適時に資金の運用を心がけている。
- 5-2 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 5
予算、収支については実態、実情に基づき、しっかりと計画している。
- 5-3 財務について適正な会計、監査が適正に行われているか。 5
会計監査については専門家により適正に実施されている。

5-4 財務情報公開の体制整備はできているか。 5
適正な対応を行う。

6. 法令の遵守

6-1 法令、設置等の遵守と適正な運営がなされているか。 5
法令、設置等の遵守と適正な運営を行っている。また、改正毎に適切に対応している。

6-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。 5
プライバシーポリシーを作成し、運用している。

6-3 自己点検、自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 5
日々の日常的問題点、リスクの管理の観点より実施と改善に努めている。

6-4 自己点検、自己評価を公開しているか。 5
ホームページは容易に閲覧できる形で公開している。

6-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか。 5
適正な対応を行っている。

6-6 コンプライアンス体制を整備しているか。 5
コンプライアンス規定を作成し、運用している。

7. 社会貢献

7-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 3
所属公共団体と清掃、観光客向けのボランティア派遣協定を締結している。
所属公共団体の外国人在住者に関するアンケート調査の協力を予定している。
近隣老人会より以来のある必要なボランティア活動を予定している。
前面道路に防犯カメラを設置し、近隣への治安向上に貢献する。

8. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 5
国内での大規模災害が発生した場合、校長及び設置者と予算、計画、安全確保などを相談の上
災害支援を行う。

9. 教育活動

9-1 カリキュラムは体系的に編成されているか。 4
本校ではクラスを4つの学習レベルに分け、初級から中上級にわたって日本語教育を実施している。
カリキュラムは積み上げ式であり、期末試験において合格により上のクラスに上がる確実な基礎強化に
力をいれている。

9-2 授業評価の実施、評価体制はあるか。 4
定期的に研究授業や授業参観を行い、授業実務を監督、指導、評価をしている。

9-3 目標に向け授業を行うことができる要件、資質を備えた教員を確保しているか。 4
教員の募集時により本校理念と教員理念の能力を面接、模擬授業などを通して判断し、常に良質な教員
の確保に努めている。またコロナ収束を見据え増員を予定している。

9-4 成績評価は行われているか。
成績評価は、5段階により詳細な評価を行っている。評価の基準は、出席率、授業態度及び活動の様子、
課題物提出状況、小テスト、ユニットテストの結果及び定期テストの結果を基に3か月1度総合評価を
している。

各種日本語試験の認定率向上のため、対策クラスを別途開き、結果のデータ化を図っている。

【総括】

本校は、コロナ禍のもと今年度はオンライン授業中心の活動となった。また、本校理念の、質の高い教育、協働、社会貢献のできる人材育成を念頭におき、教育活動を続けた。来年度は新生を受け入れ教室活動も開始され、より有意義かつ充実した教育活動に努めていく。現在の世界的状況から、オンライン授業は益々必須となる、と考えられる。本校も社会的内外の状況を常に見据え、的確な授業が行われるよう、職員一同努めていく。